

2010年度から始まる3カ年の中期経営計画では、初年度の目標である連結営業利益黒字化を達成しました。今後も構造改革の継続、円高に対応した経営基盤変革による収益体質づくりなどの課題に取り組み、将来成長シナリオの実現に向け、2012年度の連結営業利益率5%達成を目指します。

2010

連結営業利益黒字化

将来成長シナリオ実現

- ✓ **米国二輪車事業の在庫圧縮**
2009年度90,000台から
2010年度49,000台へ
- ✓ **二輪車の販売数量拡大**
2009年度584万台から
2010年度696万台へ
- ✓ **次世代商品による競争力強化**
次世代環境対応エンジンの市場投入
- ✓ **二輪車の生産能力の増強に着手**
インドネシア360万台、
ベトナム100万台体制



経営基盤変革 (\$80円/€105円の収益体質づくり)

構造改革・収益体質確立 (\$88円/€128円 ➡ \$88円/€116円)

- ✓ **事業構造改革の推進**
国内12工場から11工場へ・
本社932名の希望退職実施
- ✓ **コストダウン目標90%達成**
2012年度目標600億円進捗90%
コストダウン目標拡大750億円へ

2011

2012

201X

連結営業利益率 5%

先進国市場：
需要回復へ向けた準備

新興国市場：
二輪車+マリン+特機等

新成長分野：
マーケティング・パーソナルモビリティ・新技術

円高対応：
短期・中期・長期的施策

国内生産体制改革：
本社+グループ会社の再編成

コストダウン目標：
600億円 ➡ 750億円へ

もっと詳しく

P10: トップメッセージ
P24: 特集